



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第188号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

POSITIVE AGING

2010～11年度テーマ 「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します

第188回例会

日 時：平成 23 年 6 月 9 日(木) 16:00～18:00

場 所：八王子エルシィ

出席者：64 名 欠席者 6 名 出席率 91.4 %

(会員総数 70 名 休会 0 名)

1. 開会 東山例会委員長 この 1 年間の会員のご支援に対する感謝の言葉を以って開会

2. 杉山会長挨拶



2 月から始まった生涯学習サロンも、予定通りの日程消化は出来なかったものの、お陰さまで、先月無事終了することが出来ました。皆様のご協力に改めて厚く御礼申し上げます。

そして、本日はいよいよ年度の最終例会となりました。

年度初めに、「遊び心」「学ぶ心」そして「奉仕の心」で、クラブは今年も進化します、と申しあげて早くも一年が経過いたしました。後ほど澤渡幹事を初め、各委員長さんからもご挨拶を申しあげますが、皆様この一年をお楽しみ頂けましたでしょうか。何かと至らなかった点をご寛容にお許しを頂ければ幸いです。本日は、最終例会、総会、そして懇親会の最後までどうか宜しく願い申し上げます。有難うございました。

3. ハッピーコイン披露 ・バースデー報告



杉山会長よりハッピーコイン披露合計 35 件
(詳細：4～6 頁参照) 6 月のバースデー報告。

今月は石井充、広瀬智子、橋本晴重郎、山形忠顯の 4 会員に、池田ときえ会員謹製のバースデーカードを贈呈。また池田会員には、今年度のカードを頂いた全会員の謝意を込めて、副幹事の高取和郎会員制作の茶器が贈られた。

4. 新入会員紹介



推薦者：高取和郎会員

新入会員：根本照代(みつよ)氏
看護師として日赤医療センターを始め都立府中病院、八王子小児病院などを経て、多摩相互病院で看護婦長として勤務。看護一筋に 50 年近く生と死を見つめてきたので、今は健康を大切に豊かな楽しい人生を送れることを願っています。



推薦者：川村 真会員

新入会員：内山雅之氏

立川生れの八王子育ち。
関電工に 40 年余勤務、企画室長で定年退職。趣味は百名山登頂を目指す登山、近隣のクラブでの囲碁、茶道。月 1 回の能楽鑑賞。仏像拝観も好きで関西方面を中心の旅など。これが私の定年後の生き様です。

5. 幹事報告 澤渡幹事

幹事としての報告は最終回となります。

1) 東日本大震災の皆様方からの義援金ですが、4～5 月の最終合計は 323,450 円となり、総額 40 万円として差額を一般会計より支出させて頂きました。(プロバスだより第 186 号参照)

また「東京八王子プロバスクラブ生涯学習サロン有志」として、義援金 12 万円を光と愛の事業

団に寄託し、5月17日の読売新聞多摩版に掲載されました。(プロバスだより第187号参照)

2) 八王子学会が10周年記念号として『「地域の未来が見える」―地域学から視野が広がる―』を出版しました。当学会は大野聖二会員が理事長を務め、八王子プロバスの会員も数名参加しており、それぞれ論文等を掲載しています。



(プロバスだより第187号参照)

3) 石井廣治会員がお仕事の都合で、5月31日付で退会されましたので報告致します。

尚、この後で懇親会がありますが、会員より支援の思いを込めて福島のお酒を用意するようにとのご指摘があり、そのよう準備しております。

その他、阿部和也会員は故郷福島にご親戚がいらっしゃる、多くの方々からご支援を頂いていることから、感謝のしるしに、懇親会に同じく福島のお酒をお持ち頂きました。

6. 「宇宙の学校」開設準備室報告【第3回】

室長 下山 邦夫

下山です。時間の都合上簡単に報告します。お手元に八王子「宇宙の学校」実行委員会名簿(案)が配られています。お名前を読むのを省略させていただきますが、ご覧の通り、プロバスクラブから元会長はじめ多くの方々のお名前を頂戴しています。これは宇宙の学校を實際上プロバスクラブが、運営していくことになるからであります。よろしくご協力下さい。

プロバスクラブ以外では八王子市内の有力の方のお名前を頂戴しています。八王子市関係の責任ある立場の方が入っています。市の教育委員会との共同によって、会場の確保、なにかんずく子ども科学館の絶大な協力が得られるなど、たいへん良い条件が生み出せております。

また市内有力な方の参加で、信用・信頼があるわけで、今後の後援会活動に大きな支えになります。この実行委員会の設立総会がこの6月23日に開催される運びとなりました。いよいよスタートです。

もう一つお願いですが、実行に当たって、運営本部がスタートしますが、プロバスクラブから15

名程度の方に、参加して頂きたい、ぜひ子どもたちの為にやりたい、という方々は、下山または澤渡さんに申し出て下さい。大勢の方を期待しています。個別にもお願いしますのでご協力ください。以上要点のみの報告とします。

7. 委員会報告

(1) 例会委員会 東山委員長

期初に当クラブの例会の役割は何かを、委員会で議論し「出席し易く、魅力があり、稔りのある」例会を目指して、役割分担し開催してきました。



結果は例会の平均出席率が89.8%となり、期初の目的を達成できたと、委員会一同自負しております。

(2) 情報委員会 吉田委員長



情報の成果は①プロバスだよりでは、投稿数が新設のツブヤキを含め年間50件と急増しました。

②学習サロンの抄録作成は例年より2週間早く、6月例会日に発刊出来ました。③ホームページは、宮田会員に専属でお願いしメンテナンスを含め維持管理を充分図っていただきました。

なお今月のプロバスだより187号は阿部幸子会員が担当し、本人の技術向上の努力があって、素晴らしい仕上がりとなりました。

(3) 会員委員会 川村委員長

年度初の会員数は67名でしたので目標数を70名としました。期中に皆様方からの推薦が8名あり、うち入会決定後2名の方がご病気で辞退され、結果として6名入会、3名退会で年度末会員数は70名となり目標達成致しました。



(4) 研修委員会 土井委員長

今年度、研修委員会は例年と少し違うところが2つあります。1つは野外研修を談論風発会として、「当クラブに何を期待するか」「社会貢献のあり方は」などをテーマに、論談し、それをまとめて頂きました。



結果は、会員相互の理解が深まり、またクラブ運営の方向も見えてきました。(プロバス日より 181 号参照)

2 つ目は、私達が講師となって外へ出向き、経験や知識を披露する講演会などへの

講師派遣の案内書を纏めることでした。お手元に素案を纏めて配布しましたが、これを来期の委員長に引き継ぎ完成して頂きます。

さらに具体的な運用の体制を作り、皆さんの合意のもとに運用を開始するようお願いいたします。

(5) 地域奉仕委員会 下田委員長

皆さま方の力強いご支援とご協力で、第 15 回生涯学習サロンは、大震災というアクシデントは有りましたが、それを乗り越えて無事終了することが出来ました。皆さまがたの暖かいご芳情に感謝申し上げます。

詳細につきましては、本日配布されました学習サロンの抄録に含まれておりますので省略させていただきます。

(6) 交流担当 山崎理事



事業報告書の中に掲載してありますが、昨年 10 月 5 日当クラブの支援のもとに、東京日野プロバスクラブが創立されました。近隣の東京多摩プロバスクラブと共にお付き合いしていきます。

また、昨年 9 月 12 日全日本プロバス協議会の総会が旭川で開催され、25 クラブ 162 名のプロビアンが全国から参加され、八王子からも 16 名が参加しました。会議では、立川富美代会員が副会長を重任され、クラブの活動報告では、杉山会長がレジメとクラブの案内リーフレットで会の活性化について報告しました。

8. 同好会報告

(1) お茶の会；今月号に 6 月 13 日と記載してありますが 6 月 16 日に訂正して下さい。

(2) ゴルフ同好会；特になし

(3) 歴史の会；「歴史を肴に語ろう会」を開催します。期日は 7 月 28 日、14 時 30 分から、ク

リエートホール、第 5 会議室で、荒会員による「シリア・ヨルダン歴史の旅」で写真を豊富に使った楽しいお話を予定しています。

申込の用紙は 7 月度の例会で配布いたします。

(4) 写真の会；特になし

(5) 囲碁の会；特になし

(6) 麻雀クラブ；毎月第 3 火曜日に開催

(7) 美術鑑賞の会；宮崎浩平会員投稿参照

9. 卓 話

辛亥革命秘話 孫文を支援した日本人

渋谷文雄

清朝末期、清朝役人の腐敗もあって、西太后の幼い皇帝を後ろから操る、垂簾政治は乱脈を極めていました。しかも日清戦争



(1894～95 年) のさなかに、李鴻章が頤和園再建のために軍事予算を流用してしまい、これが黄海海戦で、日本に負けた原因の 1 つとも云われています。尚それでも財

政不足で、英米仏などに鉄道施設権を抵当に多額の借款を行い、まさに疲弊につぐ疲弊の中国を作りだしてしまいました。これに多くの人々が怒りを覚え、孫文も李鴻章に開国の進言をしたが日清戦争開戦前で没になります。

1895 年 4 月馬関条約(下関条約)が締結され、遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本へ割譲し、賠償金として日本の国家予算の 4 倍強を中国は支払いました。これを資本にして日本は富国強兵の道を歩み英国に駆逐艦、巡洋艦を発注し、後に日露戦争でバルチック艦隊を破ることになります。

こうした事態に孫文は立ち上がり、「韃虜駆除、恢復中華」つまり清朝を建てた満州族を駆除し、漢民族の国を作るというスローガンを立て、また後に彼は勉強して「三民主義」とし民族、民権、民生を旗印として革命を遂行しようとしています。

孫文(1866～1925)は広東省香山県、今の中山市に生れ、男 3 人、女 3 人の 5 番目で、日本では孫中山、西欧では逸仙で知られています。

家が貧しかったので兄はハワイに出稼ぎに行き、よく働き遂にサトウキビで成功しました。その兄を頼り、孫文 6 才の時にハワイへ行き、そこ

で高校まで学ぶわけですが、今のアメリカ大統領が学んだ同じ学校と聞いております。そこでクリスチャンになり、辮髪を切る、切らないと、兄と大喧嘩をし、遂に香港へ帰されてしまいました。

香港では今の香港大学の前身の医学校に入り、学校では先生のジェームス・カントリー博士と非常に昵懇になり、西欧思想を学ぶようになります。

卒業後マカオで医院を開業しますが、先に話したように清朝が政治的に危機に陥っています。そこで、何とか新しい国家を創らなければならないと、1895年12月に広州蜂起（革命）をします。

しかし失敗して、シンガポールへ逃れ、日本を経由してハワイ、英国に逃れますが、清国政府の1千万円の賞金を懸けた追跡により、清国の領事館に拘留されてしまいます。その後、密かにジェームス・カントリーに手紙を送ると、彼は新聞記者を総動員して国際的に報道し大騒動を巻き起こし、孫文は解放され、結果として孫文は革命志士として欧米に知られることになりました。その後、同志を募り、資金を集め、何回となく蜂起を行い、9回目の1911年10月10日の蜂起が全国に続発、拡大し清朝が倒れ、1912年1月1日にアジアで初めての共和国である中華民国が誕生しました。

中華民国の台湾では今でも双十節として10月10日を建国記念日としてお祝いしています。

なお、革命が成功した当時、孫文は米国のデンバーにいて、海外の華僑を訪ね資金集めに奔走しておりましたが、その多額な資金の最大の支援者は、日本の梅屋庄吉でありました。

孫文は急遽帰国し、革命を起こした仲間たちに迎えられ、初代の大統領に就任しました。

梅屋庄吉（1868～1934）は長崎の人、梅屋商店を経営。香港で梅屋照相館（写真館）を開き成功し財を築きます。1895年1月に孫文と知り合い「君は兵を挙げたまえ、我は財を挙げて支援する」と意気投合。これで清朝の官憲に追われ、シンガポールへ逃亡。映写機とフィルムで莫大な資産を稼ぎ、孫文を支援。1906年日本活動写真会社（日活）を設立。この梅屋庄吉の子孫が、孫文と宋慶齡（1893～1981）ほか関係した人達に関わる、文書、写真、書簡など、歴史的な文化財を

秘蔵し管理しています。

その他孫文を支援した人では、宮崎滔天（1871～1922）熊本県荒尾出身で、孫文の秘書陳少白を介して孫文と知り合い資金と武器調達などで支援。また『三十三年之夢』（1902）と題する本を出版、これが中国人に読まれ、同志が東京に集まり中華革命同盟会を結成。日比谷の松本楼などで談合が重ねられた。

この他支援者は宮崎隆介と柳原白蓮がおり、孫文と宋慶齡の結婚披露宴には、犬養 毅、大隈重信、渋沢栄一など政界財界の著名人が多数列席して後援の様子が推察されます。

このような孫文が日本に亡命中の資料が昨年の上海万博で展示され、多くの中国の人たちに感銘を与えております。

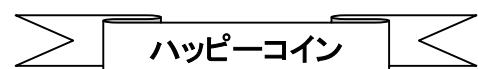
10. プロバスソング斉唱

11. 閉会の挨拶 佐々木研吾副会長



今日も大変結構な例会でした。2人の新メンバーを迎え念願の会員数70名を達成し、また渋谷会員の中国の近代史には大変感銘を受けました。

これで、杉山年度の例会は終わります。この後新たな体制で引き継ぎますが、襷を落とさないようやって行きたいと思っています。



◆第8回健康フェスティバル、実行委員長を務め、プロバスの同志の応援で大成功でした。感謝。

塩沢迪夫

◆ひ孫が生れ初節句、權と名付けた。孫娘が上智から電通に入社した。

渋谷文雄

◆5月中旬、故郷に行って法事をすませ、老いた姉妹と連れ合って瀬戸内旅行ができました。

下山邦夫

◆シニアダンディーズ輝いてきました、今日はお楽しみください。被災地の音楽プレーヤー招いてのハートフルコンサート応援よろしくお願いします。ドイツオケの来王中止は残念ですが、みんな心をつないで応援を！！

立川富美代

◆今日で研修委員会の仕事から解放される万歳。

でも来年度は縁の下の力持ちで頑張ります。

土井俊玄

◆長男が部長に昇格しました。

(勤務先、旭化成(株))

中野義光

◆ガンの疑いが晴れた。先月成人病検診の前立腺ガンの疑いありとの事、精密検査の結果、数値正常にて疑いがはれた。やれやれ。

宮崎浩平

◆元気です。

山下安雄

◆生涯学習サロン抄録の発刊に気持ちのゆとりを取り戻したので……。

吉田信夫

◆新年度の「委員会構成表」を配布しました。適材適所を基本に、いろいろバランスを考えて決めました。どうぞよろしく願いいたします。

佐々木研吾

◆一年間無事終了。

山崎修司

◆末娘によりやく男子が誕生。6人目の孫となりました。

橋本鋼二

◆囲碁の大会、11回で初優勝とは！いわく、不可解。

浅川文夫

◆15回で初優勝は実力がありながらやっとなのか、力が無いのにまぐれなのか。やはり麻雀はツキだけの勝負であることの証明になりました。

浅川文夫

◆初優勝が月に2回とは、想定外。

浅川文夫

◆今、厳しかった冬が終わり、やっと春を迎えた心境です。地域奉仕委員長としての仕事はこれで最後です。有難うございました。

下田泰造

◆何はともあれ、あと3週間。ありがとう、おめでとようと云いたい気分です。改めて皆様のご支援に深謝。

澤渡 進

◆去る3日に埼玉浮き城プロバスケットクラブ設立のための仮例会で、50分の卓話をしてきました。

杉山友一

◆本日、年度の最終例会となりました。一年間の皆さまからのお力添えに感謝して！

杉山友一

◆口べた(?)の拙い司会の私を一年間ご支援下さいまして、有難うございました謝謝。東山 栄

◆3月に3人目の孫、昊(ソラ)が誕生いたしました。4月には2番目の孫が小学校1年生に！めでたし、めでたし！

川村 真

◆今月根本照代さんと内山雅之さんが入会されました。よろしく願い申しあげます。川村 真

◆会長1年間ご苦労さまでした。 戸田弘文

◆幹事さん1年間ご苦労さまでした。 戸田弘文

◆長いような、アツと言う間のような1年を終り、仲間の素晴らしさを改めて体験しました。良い年を重ねて行きたいと思います。アリガトウ！！

宮城安子

◆バースデーカード有難うございました。今年は古希の誕生日でした。これからも和やかに過ごしていきたいと思います。

有泉裕子

◆先日孫の運動会に出掛け家族皆で楽しい一時を過ごしました。

高取和郎

◆今年度役員の皆さんご苦労さまでした。

竹内賢治

◆ボランティアの仲間と南三陸に義援品を沢山送ることができました。やさしい皆様の心に感謝。

根本洋子

◆万緑に囲まれた田舎暮らし。日々の健康に感謝。定まらぬ政治体制に一抹の不安。「若竹に触れて命を貰いけり」

河合和郎

◆プロバスの皆さん、5月1日の第九演奏会を聴きに来てくださってありがとうございました。1年数か月の訓練でドイツ語の歌詞を暗記で歌えてホットしました。自信ができました。岩島 寛

◆5月1日、新市民会館「オリンパスホール八王子」でベートーベンの第九交響曲の合唱を歌い大感激。永年の夢がかないました。

馬場征彦

◆久しぶりのハッピーコイン再開を祝して1口。

野口浩平

◆①6月9日は「第四の人生」の記念日です。2年前の今日、手術不能と宣告された白内障から救われ、手応えのある2年を過ごしました。一句吟詠<テノールを謳ひやりなむその日まで>。②上

越高田時代の教え子が主催する仙台の混声合唱団「萩」が、5月20日夜ニューヨークのカーネギーホールで、「みちのく震災支援日米合唱チャリティコンサート」を開きました。団員殆どが被災者ですが104人渡米、16人断念だそうです。

連日、被災地支援コンサートの開かれるニューヨークですが、被災者自身によるものは、前例が無いそうです。みちのくの日本男児、大和撫子を誇りに思い、敬い置かざるを得ません。

山形忠顯

◆活発な協議で今年度の目標を達成できたこと

は、会員の皆さまの協力によるものと感謝申し上げます。
理事会一同

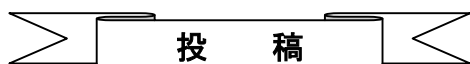
第 15 回定期総会

杉山会長が議長に選出され、議長は書記に廣瀬智子会員、議事録署名人に大串延子会員、山下安雄会員を指名し、以下の議案を審議した。

議案「東京八王子プロバスクラブ事業報告書

2010 年 7 月 1 日～2011 年 6 月 30 日」につき

澤渡幹事から詳細な説明があり、質疑、意見を求めたところ、異議なく、原案通り可決された。



「写楽の謎は解けたか」

宮崎浩平



5 月 23 日、東京国立博物館（上野公園）で開催中の特別展「写楽」を美術鑑賞同好会で鑑賞会を実施した。写楽（東洲斎写楽）には「謎の浮世絵師」として今もってついて回る。研究者の間では、「阿波藩の能楽師、斎藤十郎兵衛」として、ほぼ決着がついているにもかかわらず一抹の疑問が残る。

歌舞伎役者大首絵 28 枚を一挙に出す鮮烈なデビュー、僅か 10 ヶ月の活動期間、何より個性的な歌舞伎役者絵が見る者の想像力をかきたてる。現在知られている写楽の浮世絵版画全 141 点を一堂にあつめた展示は最大級の写楽展である。他に写楽登場前の役者絵や、同じ舞台・同じ役者を描いた勝川春英らのライバルの作品を比較した豪華な展示。

写楽の作品は何と言っても当時代の歌舞伎役者の大首絵にある。一世を風靡した展示は短期間において、その作品の変化が充分に覗えることが出来る。歌舞伎役者大首絵から全身像へと変わり、次第に精彩を失っていくありさまが素人の私達にも充分に伝わってくる。

浮世絵は絵師、彫師、摺り師、そしてそれをプロデュースする版元によって成り立っている。写楽の作品はすべて葛屋重三郎が関係している。写楽を売りだした版元、葛屋重三郎の巧みな企画力

と初期大首絵の華やかさに感嘆させられる。「葛屋重三郎」あつての「東洲斎写楽」である。

10 ヶ月にして、幻のごとく消えていく、写楽と葛屋重三郎の間に何があったのか。寛政 6 年に何が起こったのか。寛政の改革により、歌舞伎や出版界などの町人文化に対して幕府の姿勢が厳しかったことは確かである。

今回、写楽展を見て、謎は解けずに終わる。やはり、写楽は、写楽であると判断せざるをえない。

“Boys , Be Ambitious ! ”

クラーク博士から石橋湛山へ

～「志」を次世代に継ぐ～

飯田富美子



今、多くの若者達に伝えたいこと、それはもっともっと大きな「夢」や「志」を掲げて、人々のため、自己実現のためにさらなる高みを目指して邁進してほしいという事です。誰もが

知ってる「少年よ大志を抱け」という言葉はクラーク博士が札幌農学校を去る時に見送りに来た人々に言った

“Boys, Be Ambitious Like This Old Man” (少年よこの老人の如く大志を抱け)を日本語訳した一節です。

私の母校は甲府市の西北に位置する甲府一高（旧甲府中学）です。昨年秋、創立 130 周年を迎えました。

母校の校長室前には“Boys, Be Ambitious”と“Boys, Be Gentleman”という 2 の大きな掛け軸があります。

大先輩の石橋湛山先生が墨筆で書いた力強い立派なものですがこの書には湛山先生の特別な思いが込められているのです。

1880 年（明治 13 年）札幌農学校に赴任したクラーク博士には 23 名の弟子がいましたがその中に、内村鑑三、新渡戸稲造、宮部金吾など錚々たる方々と共に極めて成績優秀な大島生健（おおしままさたけ）氏がおりました。

この大島先生が母校の校長として 13 年間在職した時に、後の総理大臣となった石橋湛山氏が学んでいたのです。湛山先生は「幸いに大島校長に

会うことによりクラーク博士の話を聞き、なるほど真の教師とはかくあるものかと感動した」と。

また「大島先生には、私はその陶醉を2カ年あまり受けた。しかるに大島先生はクラーク先生の愛弟子としてその感化をもっとも深く受けた方であったので、いわば私はクラーク先生の孫弟子とも称すべく、大島先生をとおして、私はクラーク先生を知り、子供心にも強く印象づけられた。

私がもしいささかでも社会の教師たる者の心構えに通ずるところがありとせば、それは主としてこの大島先生の感化によるのであり、私はこの多感な時に受けた教育がのちの人生に大きく素晴らしい影響してきたかは言語につくせません」と。この掛け軸にはこんな背景もあり、ずっと後に母校へ寄贈したものでした。

『其の後石橋湛山氏は1948年、母校の生徒たちにしたためた墨書の手紙の中に、“Boys, Be Ambitious”の言葉の裏には、何事にも「志」を立てたならば忍耐強く努力せよ、との訓示が含まれていることを忘れないように。・・・私も老年ながら諸君に負けず勉強するつもりです』と自らの決意をつづっています。

日本の偉大なジャーナリスト、政治学者であった石橋湛山先生がもし存命ならば今の日本の政治に対して、また若者たちに対して何を語ったであろうか。

「政治的良心に従う」として病気であったとはいえ首相の座を潔く辞し、多くの人に感銘を与えたとのこと、今であれば「国民的良心に従い」として支持率低下にはさっさと総理の座を辞すであろう、若者に対しては「もっと志を高く掲げそれに向かって勉強せよ、日本をしっかりリードできる人財となれ」と鼓舞するであろうか。

母校の湛山先生の自筆のこの掛け軸は多くの先輩後輩たちが目にし、心に焼き付けて卒業しました。官学微典館から創立130年の歴史の中で多方面にわたって、幾多の有為な人材を輩出しています。

私は今もなお母校の校是「少年よ、大志を抱け」「日に新た、日に日に新た、また日に新た」が座右の銘としていつも心の中の灯として燃え続けています。

私たちは今何をなすべきか。そして次世代に何を残すべきか、大事な責務と考えています。

クラーク博士から石橋湛山先生への教え“Boys, Be Ambitious” “Boys, Be Gentleman”を通して大きな志と、人として紳士、淑女の心構えをしっかりと次世代を創る若者たちに伝えていかなければならないと強く「心」した次第です。最後にこの度の東日本大災害に対し衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興を祈念し“がんばろう日本”の旗のもと国民ひとり一人が一致団結して頑張りたいと思っています。

紀州熊野写真紀行 「失敗は成功の基」

矢島一雄

歌手の水森かおりさんが歌うご当地ソング「熊



野古道」のヒットもあつてか、観光客に人気の紀州熊野は、古くからの歴史遺産が世界遺産に登録されるなど有名な場所だが、写真撮影地としても海霧の田原海岸や橋杭岩など数多くのスポットが点在し、写真愛好家にとっても人気の場所となっている。

数年前の二月のこと、久しぶりに友人と二人で熊野に写真旅行をすることになり、お互いの日程のやり繰りに苦労しながら二泊三日の予定で出かけることにした。

初日は橋杭岩の夜間撮影をすることにして海岸に近い民宿に宿を取り、いざ撮影に出かけようとして外に出てみると、なんとしたことか予定には無いはずの月が出ているではないか、それでも

と、気を取りなおし海岸に行ってみると、橋杭岩に寄せる小波



が月に照らされて光っており、イメージしていた夜の橋杭岩などどこにも無い始末。

お互いの日程調整のみに気を使い、肝心の「月齢の確認」が出来ていなかったのが失敗の原因と

判って、早々と撮影を切り上げ、翌朝の日の出前撮影に賭けることにした。

当日は三時に起床、寒い中を眠い目をこすりながら外に出ると、外は真っ暗闇で気にしていた月は既に森影に落ちて撮影の条件としてはまったく申し分無く、急いで海岸に出てみると橋杭岩も闇の中に幽かにその影を沈めていた。

本州最南端といっても二月早朝の和歌山は寒さが堪へるが、刻一刻と変わる自然の素晴らしい移り変わりを十分に堪能した撮影であった。

その時に撮影した作品が掲載の写真ですが、結

果として、夜中の橋杭岩とは異なった姿を捉えることが出来た上に、海と空とのグラデーションがイメージ以上の仕上りの作品となったことを喜んでいる。

正に「失敗は成功の基」改めて失敗から学んだ忘れることの出来ない写真の旅となった次第。

懇親会

侃侃諤諤、談論風発の状況は以下の写真をご覧ください。

編集後記：クラブの拡大活性化状況を記録出来ました。 荒 正勝

